

一 般 質 問 通 告 書

佐野市議会議長 様

受付	番号 3
	令和 8年5月25日
	午後 3時20分

議会名	令和 8 年 第 2 回 佐野市議会定例会		
発言者	議席番号 9 番 栗 崎 卓 二		
答弁を求める者 (選択してください)	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 担当部局長		
一般質問時に使用する資料の有無 (選択してください)	あり (資料提示・資料配付・モニター使用) <input type="checkbox"/> なし		
大項目 (質問項目) 中項目 (質問細目)	小項目 (具体的な質問内容)		
1. 第 2 次佐野市総合計画後期基本計画 国際交流・地域連携の推進について (1) 多文化共生社会の推進について	<p>①現時点における取り組みについて伺います。</p> <p>②現時点での課題について伺います。</p> <p>③外国人市民も同じ佐野市民として対等な関係を築くことが重要と考えますが、当局の見解を伺います。</p> <p>④対等な関係を築くにはお互いの理解が必要と考えますが、現時点で市民への啓発は行っているのでしょうか。また、行っている場合の啓発方法について伺います。</p> <p>⑤相互理解を深めるには言葉の壁が一番の課題となるのではないかと思います。今後、日本語教室等の更なる充実について伺います。</p> <p>⑥日本語教室等の充実と同様に、やさしい日本語の普及推進も充実させるべきと考えますが、現在、国際交流協会が主体となって普及活動を行っています。他県他市では、行政が主体となってやさしい日本語の推進活動をしている自治体もありますが、当局の考えを伺います。</p> <p>⑦後期基本計画には「外国人が利用しやすい窓口を整備する」とありますが、具体的にどのような窓口なのか伺います。</p>		

<p>2. 児童・生徒の交通安全指導について</p> <p>(1) 佐野市自転車活用推進計画について</p> <p>(2) 小学校及び義務教育学校前期課程での自転車運転の安全指導について</p> <p>(3) 中学校及び義務教育学校後期課程での自転車運転の安全指導について</p>	<p>⑧ある自治体では多文化共生に対する部署があり、その部署と一緒に国際交流協会も活動しています。本市も、今後このような専門部署が必要になるのではないのでしょうか。当局の考えを伺います。</p> <p>⑨外国人市民の方々が本市の歴史的、文化的、経済的魅力について理解を示すことは、今後の本市の国内外への情報発信の一助になるのではないのでしょうか。当局の考えを伺います。</p> <p>⑩佐野市国際化推進戦略会議からの提言に「多文化共生は全ての施策に関わりがあることから、国際戦略の基盤として位置付けることを検討する」とありましたが、当局の考えを伺います。</p> <p>⑪児童生徒の学習面における国際的な視野の広がりや海外との交流により、多文化共生への理解が深まるのではないのでしょうか。当局の考えを伺います</p> <p>①佐野市自転車活用推進計画の策定目的と取組内容について伺います。</p> <p>①下学年（1～3年生）に対する指導内容について伺います。</p> <p>②上学年（4～6年生）に対する指導内容について伺います。</p> <p>③保護者、ご家庭に対する啓発及び協力体制について伺います。</p> <p>④地域の方々との協力体制について伺います。</p> <p>①指導内容について伺います。</p> <p>②自転車運転に対し通学路の安全点検による危険箇所の把握方法及び危険箇所の定義について伺います。</p> <p>③保護者、ご家庭に対する啓発及び協力体制について伺います。</p>
--	--

<p>(4) 自転車保険について</p>	<p>④事故等の防止のためにも更なる指導、教育も必要と考えられますが、今後の指導方針について伺います。</p> <p>①現時点における、自転車を利用する児童、生徒の保険の加入率について伺います。</p> <p>②保険加入についての保護者、ご家族への啓発方法について伺います。</p> <p>③加入率を増やすための今後の考えを伺います。</p>
----------------------	---